

平成二十八年三月十一日受領
答弁第一六〇号

内閣衆質一九〇第一六〇号

平成二十八年三月十一日

内閣総理大臣 安倍 晋 三

衆議院議長 大島 理 森 殿

衆議院議員逢坂誠二君提出核燃料サイクルとMOX燃料に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

衆議院議員逢坂誠二君提出核燃料サイクルとMOX燃料に関する質問に対する答弁書

一について

お尋ねの「核燃料サイクル」については、「エネルギー基本計画」（平成二十六年四月十一日閣議決定）において、「使用済燃料を再処理し、回収されるプルトニウム等を有効利用する核燃料サイクル」として
いる。

二の①について

現在、我が国では、約百十二トン・ヘビーマタルの使用済MOX燃料を保有している。

二の②から④までについて

使用済MOX燃料については、日本原燃株式会社の再処理事業所再処理施設（以下「六ヶ所再処理工場」という。）で再処理を行うことは予定されていない。使用済MOX燃料の扱いについては、当面、関係法令に従って安全に保管することとなる。保管後の使用済MOX燃料の扱いについては、六ヶ所再処理工場の運転実績や、プルサーマルの導入状況、使用済MOX燃料の発生状況とその保管状況、再処理技術に関する研究開発の進捗状況等を踏まえながら、検討していくべき課題と認識している。